



鎌倉の出版社

ご注文は JRC へ

港の人

FAX 03-3294-2177

詩集

あいまいな場所

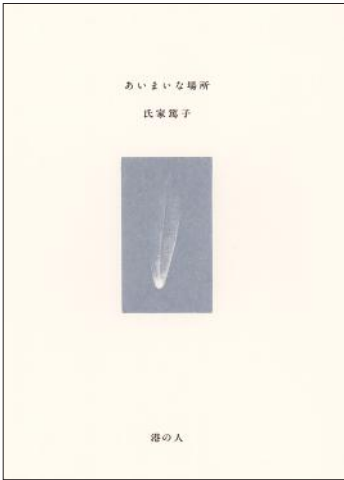
うじいえ あつこ

氏家篤子

ISBN978-4-89629-455-2 C0092

A5 判上製本／本文 76 頁／定価：2420 円税込

何事もなく平穩に過ごしている日常生活、家族の団欒。しかしその暮らしを、詩人・北村太郎のいう「〈詩の目〉で測り、調べ、〈詩の口〉で噛み、味わって」みると、どこかにズレや隙間がひそんでいることに気がつき、時に苦い思いをしたり、泣いたり、つまずいたりする。それがいいのか悪いのかわからない。そのことを〈あいまいな場所〉といい、詩人・氏家篤子は詩をうみ出していく。詩は決してあいまいではなく、遠くをにらんでいる。



装丁…長田年伸

北の町の空

悲しみにたどり着くには
そこまで降りていかなければならないか
それは何だったのか
そことはほんとうはどこなのか
たとえば
おびただしい綿毛が
いちめんの畑を
林を
駅の広場を
町のどこまでいっても
中空を漂っていたと
振り返ってみるが
北の町の空は
綿毛の舞う季節は
砂塵をまきあげる季節でもあって
目にはなにも届かない
二人の帰りの空を別々に一日ずらしたら
最後の旅になった
ある日
おもいっきり目を打った
目のふちが切れて
血がふき出たのに
目のふちの傷口は難なく塞いだ
目の奥底が裂けて
目の奥底に見えてしまうものを
悲しみに透かすように
わたしは
猫のように
手で打ち払う仕草をする

氏家篤子 うじいえあつこ

1950 年愛知県生まれ

詩誌「るなりあ」同人

本詩集が初めての詩集

*すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い

番線印	ご注文数	詩集
		あいまいな場所 氏家篤子 ISBN978-4-89629-455-2 定価 2420 円税込
ご担当：	様	冊
		港の人 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比ガ浜 3-11-49